

オンライン開催  
webex

国立病院機構榊原病院 依存症治療拠点機関 市民公開講座

ギャンブル  
依存症 × 借金問題

榊原病院

壁屋 康洋 公認心理師

ビオス法律事務所

白山 雄一郎 弁護士

「楽しみではじめたギャンブルだったのに、いつのまにか借金を重ね、家族に嘘をついてでもギャンブルに行くのをやめられない…」

ギャンブル依存症の治療と借金問題について学んでみませんか？

榊原病院では依存症治療拠点機関の広報／研修事業として、Webセミナーを開催します。

令和5年1月28日(土) 13:30~15:00

(Webexによるオンライン開催) **参加無料・予約不要**

お問合せ先：独立行政法人国立病院機構 榊原病院

電話：059-252-0211 住所：三重県津市榊原町 777



# ギャンブル等依存症拠点治療機関 人材育成研修

知識

スキル  
アップ

講演

## 「ギャンブル依存症とその対応・支援について」

講師：大阪精神医療センター 精神科医 **横路 優子**先生

日時：令和5年**2月12日(日)**  
13:30~15:30

対象：医療・保健・福祉・教育等関係機関職員、地域で依存症に関する  
相談対応する職員、自助グループ関係者

参加費  
無料

ZOOM  
開催

事務担当

三重県立こころの医療センター  
地域生活支援部 地域支援室  
医療福祉グループ 山元、濱、澤井  
TEL:059-235-2125

締切：令和5年2月7日(火)

お申し込みはこちらのQRコードから

### ●申し込み方法●

参加希望の方は、QRコードから登録ください。(氏名・電話番号・  
ご所属・役職の入力をお願いします。)ご不明な点については、  
事務担当者までお電話、メールにてお問い合わせください。

メールアドレス sawaiy01@pref.mie.lg.jp



主催：三重県立こころの医療センター

# 三重県内の ギャンブル等依存症に関する 相談・医療機関

名称	電話
精神保健福祉センター	三重県こころの健康センター 専門電話相談 毎週水曜日 13:00~16:00 <b>059-253-7826</b>
保健所	桑名保健所 <b>0594-24-3620</b>
	四日市市保健所 <b>059-352-0596</b>
	鈴鹿保健所 <b>059-382-8673</b>
	津保健所 <b>059-223-5057</b>
	松阪保健所 <b>0598-50-0532</b>
	伊勢保健所 <b>0596-27-5148</b>
	伊賀保健所 <b>0595-24-8076</b>
	尾鷲保健所 <b>0597-23-3428</b>
	熊野保健所 <b>0597-89-6115</b>
ギャンブル等依存症治療拠点機関	三重県立こころの医療センター(津市) <b>059-235-2125</b>
	国立病院機構 榊原病院(津市) <b>059-252-0211</b>
ギャンブル等依存症専門医療機関	松阪厚生病院(松阪市) <b>0598-29-1311</b>
	南勢病院(松阪市) <b>0598-29-1721</b>
民間回復支援機関	NPO法人 三重ダルク <b>059-222-7510</b>

こころのケアガイドブック▶

<https://www.pref.mie.jp/KOKOROC/HP/36648031909.htm>  
(最新情報を掲載しています。)



こんなことはありませんか？

## ギャンブル等依存症の 簡易チェック

☑️ ギャンブル等で負けた時、負けた分を取り戻すために、またギャンブル等をしたことがある。



☑️ 自分にギャンブル等の問題があると思ったことがあるか、その問題を人から指摘されたことがある。



☑️ お金の使い方について、同居していた人と口論になった原因が、主に自分のギャンブル等だったことがある。



☑️ 誰かからお金を借りたのに、ギャンブル等のために返せなくなったことがある。



☑️ ギャンブル等のためか、ギャンブル等による借金を返すために、下記のいずれかからお金を借りたことがある。  
(家計、サラ金・闇金、銀行・ローン会社)



上記の質問で  
当てはまる方は、  
ギャンブル  
問題について、

**2項目  
以上**

**支援が必要な  
可能性があります。**

参考 「日本語版SOGS短縮版」を一部改変  
厚生労働省科学研究費補助金障害保健福祉総合研究事業  
「いわゆるギャンブル依存症の実態と地域ケアの促進」

令和5年1月発行



# ギャンブルの 問題で困って いませんか

三重県こころの健康センター



# ギャンブル等依存症とは

## ギャンブル等依存症とは？

不安や緊張を和らげたり、嫌なことを忘れたりするために、特定の行為を繰り返しているうちに、行動をコントロールする機能が低下し、自分の意思ではやめられない状態になってしまいます。この状態を「依存症」といいます。

ギャンブル等依存症は、ギャンブル等にのめり込み、わかっているのにやめられない「病気」です。「意志が弱い」「努力が足りない」ためにギャンブル等依存症になるわけではありません。

## ギャンブル等依存症の特徴

**借金** 借金をしてでもギャンブルを続ける

**深追い** 負けた分をギャンブルで取り返そうとする

**嘘** ギャンブルをしたこと、借金を隠すために嘘をつく

## ギャンブル等依存症からの回復のために

ギャンブル等依存症から回復することは可能です。ギャンブルに振り回されない生活のために、以下の方法が大切です。

- ④ 本人、家族だけで抱え込まず、相談できる場所（行政・医療機関・回復施設・自助グループなど）を利用する。
- ④ ギャンブルがあなたの人生に、どんな影響を与えてきたかを振り返る。
- ④ 健康、借金、生活、人間関係などの問題を考える。
- ④ ギャンブル行動の再発の兆候に注目し、ギャンブルをしなくなってもせずつまみず、実行する。

# 支援機関

## 専門医療機関



依存症の専門治療を行うことができます。

## 公的な相談機関



三重県こころの健康センター（精神保健福祉センター）、保健所などで、電話・面談による個別相談ができます。

## 民間回復支援機関

### 自助グループ



依存症本人または家族同士が体験を共有しながら、回復に向けて支え合っていくグループです。仲間が存在が回復を支えます。

# ご家族や身近な方へ

依存症は本人が気づきにくい病気です

💡 依存症であることを本人が認めなくても、支援機関への相談を勧めてください。家族が同行することも有効です。

- 💡 家族だけで解決するのは難しい病気です。
- 💡 借金や嘘などの問題を感じたら、支援機関に相談しましょう。

家族からの相談もできます

治療には家族や友人の支えが重要です

💡 家族が正しい対応法を学ぶことは、本人の回復を助けるうえで重要です。例えば、家族が金銭の提供や借金の肩代わりをすると、多くの場合問題が深刻化します。

- 💡 依存症による問題で、家族も疲弊しがちです。
- 💡 家族向けの自助グループもあります。

家族自身への支援も重要です

